

The World's Greatest Motor Culture Magazine

ゲンロク 2015 年 5 月号臨時増刊
「モーターヘッド Vol.15」 2015 年 4 月 10 日発売

モーターヘッド

M
O
T
O
R
H
E
A
D

San-ei shobo
1050 JPY

SPRING 2015

15



plus
特別付録ステッカー
「モーターヘッド」

特集：神話の本性。

SUPERCLASSIC

Front Row

P1, エロティカ。

BMW maniacs

MH 的 ペーエムベー。

Custom Trends

明日の風向き。

and so on...



エレガント・レーシング。



装着されるHF-LC5は、フロント9.5J、リヤ11.5J、タイヤサイズはそれぞれ265/30、315/25の22インチとなる。SUV級の22インチであってもコンチGTならなんなく飲み込む。

ま っさらなコンチGTの、それも12気筒モデルというだけで存在感抜群なのに、そこに手を加えようと言うのだから生半可なモノじゃ役不足だ。そこで肝心かなめの足もとに抜擢されたのは、日本の鍛造技術の賜物ハイパーフォージドの新作、HF-LC5である。

研究澄まされた造形は、ずばり世のスポーツポーツ勢を狙ったもの。まるでリムに突き刺さるように枝分かれする5本のスポークと無骨なピュアスポルトがレーシング風情を感じさせる。切れ味鋭い戦闘機に似合うと言える、誰もがコクリと頷く。ところがこれが、戦闘的というよりもエレガントな雰囲気をもった先に見える。真つ白なコンチGTにもすんなりと溶け込んでしまう。ディスクを黒色のブラッシュド・アナダイズドとして、リムは敢えてポリッシュリウムとしたコーディネートが抜群だ。リムの輝きはきらびやかな純正モデル類と調和し、また硬派な黒色ディスクは、純正オプションたるカーボンエアロパーツと溶け込む。サイズは前後とも22インチで、エアサスモジュールを駆使して車高を50mm近く下げたことで、絶妙なクリアランスを実現させた。

もちろん、エレガントといってもコンチGTである。搭載されるW型12気筒ツインタートボが雄叫びをあげれば、並のスーパーカーなど悲鳴をあげて逃げていくに違いない。普段は紳士然として能ある鷹が爪を隠すからこそ、ホイールくらいは思いっきりその強さをアピールさせたい。と、思うのなら今回のコーディネートは抜群だ。夜のコインパーキングに静かに佇んでいても、どこことなく戦闘的な雰囲気が宿るのが分かる。無風な駐車場の縁石にさえ注意すれば、もう無敵の存在である。

Text : 中三川大地 Daichi Nakamigawa
Photo : 河野マルオ Maruo Kouno

HYPER FORGED BENTLEY

HIGH PERFORMANCE

03

HF-LC5
Size : 7.5J×19～14.0J×22
Price : ¥132,000～¥319,000

